

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	生涯学習相談事業					担当部	教育委員会事務局					
	会計区分	一般会計			事業類型	一般	担当課	生涯学習課					
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	社会教育係				
	総合計画 分野別計画	主目的	4 文化スポーツ		16 生涯学習		2 学習活動を支援します						
		副目的	16-1										
	予算区分	款	10	項	5	目	1	大	5	中	1		
	根拠法令・個別計画	生涯学習相談員設置要綱、生涯学習指導員設置要綱											
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	生涯学習情報誌「こまなび」等やホームページによる情報発信をするとともに、電話や来館などによる問い合わせや相談に対して支援し、生涯学習活動の推進・活性化を促す。											
	内容 (手段)	<p>平成24年2月からこまなびサロンを開設 平成25年3月第3次小牧市生涯学習推進計画策定。</p> <p>■25年度実施内容 生涯学習指導員、生涯学習相談員・臨時職員の配置 生涯学習情報ガイド「こまなび」の発行(年2回) 平成25年度前期第13号、平成25年度後期第14号。 ホームページの掲載、出前講座の実施 職員は、市民講座修了生の育成事務。生涯学習情報誌「こまなび」の編集事務。 生涯学習講師・ボランティアの登録・相談事務。こまなびフェスティバルの運営補助事務。 出前講座の運営補助事務。</p> <p>■25年度直接経費の内訳 講師謝礼(140,700円) 旅費等(95,420円) こまなび印刷製本費等(3,357,800円)</p> <p>■26年度直接経費の内訳 25年度と同様に実施する。 講師謝礼(185,000円) 旅費等(45,000円) こまなび印刷製本費等(3,427,000円)</p>											
	受益者負担	無											

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	4,003	4,598	3,493	3,657	
		正職員	従事者数	人	0.14	0.04	0.04	0.04
			人件費	千円	736	210	210	210
		その他職員	従事者数	人	0.39	0.21	0.00	0.00
			人件費	千円	715	2,100	0	0
	費用合計	千円	5,454	6,908	3,703	3,867		
対前年比	%			126.6	53.6	104.4		
財源	一般財源	千円	5,454	6,908	3,703	3,867		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	生涯学習情報ガイド「こまなび」の発行	部	目標	110,000	110,000	110,000
実績				110,000	110,000	110,000	
業	出前講座の講座数	講座	目標	—	—	—	—
			実績	120	106	108	
績	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
			目標	—	—	—	—
業	出前講座の要請数	講座	目標	—	—	—	—
			実績	133	128	126	
績	こまなびフェスティバル参加団体数	団体	目標	53	53	53	60
			実績	50	52	63	

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	生涯学習情報誌「こまなび」、ホームページを通して生涯学習の情報提供に努めた。市民からの生涯学習にかかる相談の対応や市民団体の活動を把握し、アドバイスに努めた。出前講座を通して市政の情報提供に努めた。市民団体の学習成果の発表の場として「こまなびフェスティバル」を開催し、参加団体数を増加することができた。発行部数については、広報にあわせ各戸への配布が必要であるので、55,000部×2(前期後期)とした。	
		事業実施における課題	平成24年2月から市民講座を実施している公民館に学習相談や学習情報の提供を行うこまなびサロンを開設し、学習相談件数は増加しているものの、更に学習相談機能の充実を図る必要がある。	
		事業を縮小・廃止したときの影響	市民の生涯学習の機会が少なくなり、学習を通じた自己実現や仲間づくり、更には地域課題解決に取り組む機会が少なくなる。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	こまなびサロンに市のイメージブランドに関するコーナーを設け、関連講座等の情報を発信する。	
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
	判定理由	市民の自己実現、仲間作りや地域の課題解決のために、行政が市民の生涯学習の機会を提供することは、引き続き必要である。		
	27年度以降の改善案	第3次小牧市生涯学習推進計画にあるように、学習活動の機会を通して様々な人と交流できる環境の整備、学びを活かし社会に還元される仕組みづくりなどを検討する。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。